

2018 人権のつどい

「障害」って何？

「分けないで！」「地域でごっちゃになって生きよう！」



あちらこちらで「共生社会をつくろう」と言われるようになりましたが、子どものときに分けておいて、大人になって共に働き共に生きる社会が本当に実現するのでしょうか？

少子化が進み、地域によっては普通学校の統廃合がなされる一方で、「障害児」とされて「特別支援教室」に通級する子どもたちや「特別支援学級・特別支援学校」に在籍する子どもたちが増え続けています。

ところで、「障害」って何なのでしょう？今こそ、私たちは原点に戻り「障害」とは何なのか、なぜ「障害者」とそうでない者の線引きがされてしまうのだろうと考えてみる必要があるのではないのでしょうか。講師の丸子勉さんは、特別支援学校（以前は養護学校と言われていた）で長年働く一方で、「子供問題研究会」の活動にかかわり、老若男女・「障害」のある

と言われている人そうでない人も一緒になって行われる夏合宿を中心に、さまざまな葛藤の中でつくられてきた関係性の豊かさを経験されてきました。その場にかかわり続けてきた江戸川区のある家族の物語をまじえて、みなさんと未来に向けて共に生きる社会をイメージできたらと願っております。今回で16回目を迎える「人権のつどい」に多くの皆様のご参加をおまちしています。

■ 日 時：2018年2月2日（金）18時開場

18時30分開会：20時30分閉会

■ 場 所：亀戸文化センターホール（詳細は裏面に掲載）

■ 参加費 1,000円

■ 講 師 丸子 勉さん（元特別支援学校教員）

＊手話通訳有、車椅子対応可動席部分は固定席16席分（最少8台）

主 催：人権のつどい実行委員会

後 援：江東区・江戸川区・江東区教育委員会・江戸川区教育委員会

【実行委員会参加団体】

部落解放江東共闘会議・NPO 法人共に結・部落解放同盟江東支部

お問い合わせ：電話 03-6802-9317 FAX 03-6802-9318